

透析だより

今回のテーマは透析に必要な血管、シャントの管理についてです。

【シャントの管理とは？】

シャントとは、透析を行う患者様にとって、大切な血管であるため、いかに長持ちさせるかがとても重要なこととなっています。シャントを長持ちさせるためには、何か異常があった時に、『早期発見、早期治療』をすることによって、元気なシャントをいつまでも保つことが可能となります。

そのためには、日頃からシャントを観察することが大切です。

【シャントの観察】

・血流の確認

シャントを触って血管の拍動（血流）を確認します。

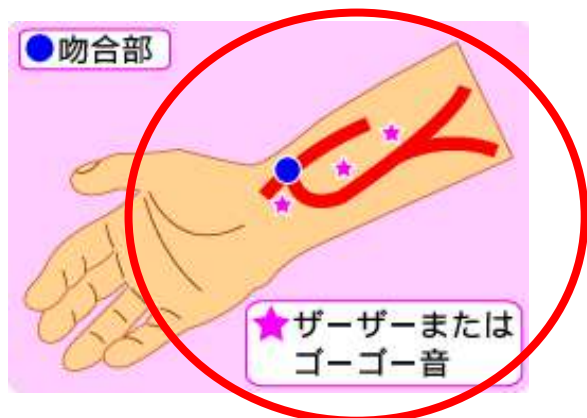
いつもと比べて拍動（血流）が弱くなっていませんか？

・シャント音の確認

正常であれば聴診器をあて『ゴーゴー』という低い音が聞こえます。

いつもより音が弱くないか、いつもと違う『ヒュンヒュン』といった高い音がしていないかを確認します。

正常なシャント



狭窄のあるシャント



・シャントの状態の確認

痛みはないか、触って熱くなっていないか、傷はないか、変な色になっていないか、腫れていないかなど、いつもと変わりがないかどうかを確認します。

【シャント管理についてのお願い】

- ・一日に一回はシャントの観察をして下さい。
- ・透析後はシャントの感染、出血を防ぐために入浴を控えてください。
- ・シャント側の腕に重いものをぶら下げたりしないでください。
- ・シャント側の腕で手枕はしないでください。
- ・シャント側はサポーター、腕時計、手提げかばんなどで締めつけしないで下さい。
- ・シャント側で血圧を測らないでください。
- ・何か異常あればすぐに病院（外来）へ来て下さい。

【感染注意！！】

- ・透析前にはシャント肢を洗浄し清潔にする。
- ・透析後の入浴を避ける。
- ・入浴後はシャント肢を押さえ拭きしてすぐに乾燥させる。
- ・シャント肢を傷つけない。

【食事】

- ・血糖のコントロールをする。
- ・カルシウムやリンのコントロールをする。
- ・水分摂取に注意する。

【透析室の取り組み】

☆シャントを長持ちさせるために以下の事を行っています。

- ・穿刺時聴診、触診でシャントの状態を観察。
- ・適切なドライウエイトを設定して血圧低下を避ける。
- ・血圧低下を起こすような過度の除水を避ける。
- ・異常だと判断したらすぐに医師に連絡しエコー診断する。
- ・1年に1回スクリーニングで血管エコーを実施。